

[ 様式 1 ]

## 令和 5 年度 三 好 市 立 学 校 評 価 報 告 書

学校名( 山城中学校 )

校長名( 大 畑 知 )

作成日 令和6年3月21日

### 1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.0	感染症対策を徹底した上での教育活動実施については、保護者も概ね理解を示してくれている。職員や保護者が意見を出し合い、工夫をして、みんなで関わられた。	感染症対策を十分に行い、教育活動に取り組んでいた。地域の子どもたちに対して魅力ある学校にしていってほしい。	それぞれの経験に応じた役割を意識し、学校運営を行う。コロナ禍での開かれた学校づくりを考える。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.2	感染症対策を十分にとり、個々の行事や活動を精選することによって、目標とする教育効果を得ることができた。	生徒数減少に対応して、複数学年で一つの活動を行うなど、工夫ができています。	子どもが活躍できる場の設定、方法の教授、評価のサイクルを実践し成長を促す。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.0	全体の中で、自分の意見をしっかりとと言える生徒が増えている。自尊感情を育てる取組を続けていかなければならない。	わかりやすい授業の展開に対してよく工夫がされている。ICT機器も十分に使いこなし、生徒が生き生きと学習できている。	コミュニケーション能力の更なる向上を目指し、対話によって考えを深めることができる生徒の育成を目指す。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	2.8	保護者や地域の体制は協力的であったが、感染予防のため、校外での活動が十分にできなかった。	学校の様子を分かりやすく知らせることが、保護者や地域との連携のしやすさにつながる。	コミュニティスクールとしての活動を進める。地域の持つ教育力を活用する。
⑤ その他、上記以外に関する評価( )	2.7	報告・連絡・相談体制が十分確立されておらず、他者のしようとしていることが理解できずに、協力できない場面があった。	1年間の見通しを持った計画が必要である。	しっかりとした計画を立て、行き当たりばったりの行事とならないようにする。余裕をもって仕事に当たる。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90~100 %  
3=達成度が 70~ 90 %  
2=達成度が 50~ 70 %  
1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の( )には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。